

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成23年12月1日(2011.12.1)

【公開番号】特開2010-117667(P2010-117667A)

【公開日】平成22年5月27日(2010.5.27)

【年通号数】公開・登録公報2010-021

【出願番号】特願2008-292449(P2008-292449)

【国際特許分類】

G 02 B 21/24 (2006.01)

【F I】

G 02 B 21/24

【手続補正書】

【提出日】平成23年10月14日(2011.10.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ベースと、

ベースに取り付けられ、標本をベースに対して前後方向または左右方向に移動させるステージと、

対物レンズが装着されたレボルバが昇降可能に取り付けられたフレームと、

一端がベースに取り付けられ、他端がフレームに取り付けられた少なくとも二以上の支柱と、

フレームに取り付けられるとともに、接眼レンズが装着可能であって、前記対物レンズと装着された接眼レンズとの間に光路を確保する鏡筒と

を備えたことを特徴とする顕微鏡。

【請求項2】

前記レボルバを前記フレームに対して昇降させる準焦機構を備えたことを特徴とする請求項1に記載の顕微鏡。

【請求項3】

前記準焦機構は、

光路を確保するとともに、外周に送りネジが形成された円筒状のガイドと、

前記送りネジが螺合され、一方向に回転させた場合にレボルバが上昇し、他方向に回転させた場合にレボルバが下降するレボルバ昇降ギアと、

該レボルバ昇降ギアと噛み合わされ、回転操作される準焦ハンドルとを備えたことを特徴とする請求項2に記載の顕微鏡。

【請求項4】

前記準焦機構は、

光路を確保するとともに、外周に送りネジが形成された円筒状のガイドと、

前記送りネジが螺合され、一方向に回転させた場合にレボルバが上昇し、他方向に回転させた場合にレボルバが下降するレボルバ昇降ギアと、

前記支柱を挿通し、上端部に駆動ギアが取り付けられ、下端部に回転操作される微動ハンドルが取り付けられた軸と、

前記レボルバ昇降ギアと噛み合わされるとともに、前記駆動ギアと噛み合わされたアイドルギアと

を備えたことを特徴とする請求項 2 に記載の顕微鏡。

【請求項 5】

前記レボルバ昇降ギアに取り付けられ、レボルバ昇降ギアを回転操作する粗動ハンドルを設けたことを特徴とする請求項 4 に記載の顕微鏡。

【請求項 6】

ベースと、

ベースに取り付けられ、標本をベースに対して前後方向または左右方向に移動させるステージと、

対物レンズが装着されたレボルバと、

一端に前記レボルバを昇降可能に保持する準焦機構と、

前記準焦機構の他端を取り付けたフレームと、

一端が前記ベースに取り付けられ、他端が前記フレームに取り付けられた少なくとも二以上の支柱と、

前記フレームに取り付けられるとともに、接眼レンズが装着可能であって、前記対物レンズと装着された前記接眼レンズとの間に光路を確保する鏡筒と

を備えたことを特徴とする顕微鏡。